



帝都プラハを交差するヨーロッパ版画

2024 **11/9(土)-12/27(金)** 前期:11/9(土)-12/1(日) 後期:12/3(火)-12/27(金)

開館時間 午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで) 休館日 毎週月曜日
入場料 一般1,000(800)円/高校生・大学生・65歳以上700(560)円

※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料
主催 郡山市立美術館 特別協力 町田市立国際版画美術館

郡山市立美術館
Koriyama City Museum of Art



帝都プラハを交差するヨーロッパ版画

2024 **11/9(土)-12/27(金)** 前期:11/9(土)-12/1(日) 後期:12/3(火)-12/27(金)

開館時間 午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで) 休館日 毎週月曜日
入場料 一般1,000(800)円/高校生・大学生・65歳以上700(560)円

※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料
主催 郡山市立美術館 特別協力 町田市立国際版画美術館

郡山市立美術館
Koriyama City Museum of Art

Fantastic Prints

奇想の版画

1500-1650

帝都プラハを交差するヨーロッパ版画

fantastic!

1 皇帝マクシミリアン1世の時代の 北方の版画家たち

神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世(在位1493-1519)は、この時代に新たなメディアとして急速な発展を遂げていた版画を活用し、独自の芸術政策を打ち出しました。皇帝が打ち立てた版画の大型プロジェクトは、数々の芸術家を巻き込み、版画の発展に結びつきます。ここでは、当時のドイツ版画界を代表するアルブレヒト・デューラーや、彼と比肩する存在として讃えられたネーデルラントのリュカス・ファン・レイデンを中心として、16世紀初頭までの北方版画を紹介します。

主な作家:アルブレヒト・デューラー★／リュカス・ファン・レイデン★／ハンス・ブルクマイア(父)／ハンス・ホルバイン(子)



アルブレヒト・デューラー「黙示録」より《黙示録の四騎士》1498年 山梨県立美術館



皇帝の版画
プロジェクトの
作品出ます

ハンス・ブルクマイア(父)
『白王伝』より
《皇帝への書物の受け渡し》
原作1514-16年頃(出版 1775年)
東京藝術大学

古都プラハは、古くよりヨーロッパの東西南北を結ぶ十字路として栄えました。1583年には、神聖ローマ皇帝として君臨したハプスブルク家のルドルフ2世(1552-1612)がウィーンからプラハに遷都し、広大な帝国の首都としてプラハは黄金期を迎えます。稀代のコレクター、そして芸術の庇護者として知られるルドルフ2世のもと、帝都プラハはヨーロッパの芸術文化の一大拠点となったのです。本展では、ルドルフ2世の時代にプラハを交差した16世紀から17世紀の版画をとりあげます。皇帝の膨大なコレクションに含まれる版画家たちと、同時代に宮廷の直接の影響下で生まれた版画に焦点を当て、デューラーからブリューゲル版画、ホルツィウス、そしてジャック・カロまで版画界を彩る名品173点を紹介します。

fantastic!

2 クラインマイスター

16世紀前半のドイツでは、ハガキや名刺大から、ときとして切手サイズの極小版画が作られました。そのサイズから、クラインマイスター(小さな親方)と呼ばれた版画家たちは、デューラーの版画の技術を受け継ぎ、緻密な線で構成された小画面の世界を生み出します。ただし、そこに描き出されるのは、理想美に走らない、生々しい表現や、ときに官能的な場面であり、主題のおもしろさも魅力のひとつです。

主な作家:ゼバルト・ペーハム★／バルテル・ペーハム★／ゲオルク・ベントツ★／ハインリヒ・アルデグレーヴァー★／アルブレヒト・アルトドルファー

大きなんと
7.7×5センチ!
ほぼ原寸



ゼバルト・ペーハム《貴婦人と死》1541年 町田市立国際版画美術館

fantastic!

3 イタリア・ マニエリスム

1520年頃のイタリアで、画家たちはルネサンスの偉大なる巨匠、ミケランジェロやラファエロらの表現形式を規範としながらも、洗練された技巧や想像力にあふれた表現を追求し、優美さと奇想を備える独自の表現を開花させました。規範となった2人の巨匠や、マニエリスムの画家たちの作品は、版画となってアルプスを越え、プラハにも影響を及ぼします。

主な作家:ミケランジェロ★／ラファエロ★／バルミジャーニノ★

fantastic!

4 ブリューゲル版画と 版画商ヒエロニムス・コック

16世紀中頃、世界最大規模の貿易都市にして出版の中心地でもあったアントウェルペン。ヒエロニムス・コックは、その地で、ピーテル・ブリューゲル(父)やヒエロニムス・ボスらの幻想的で怪異な作品の版画を出版し、ヨーロッパ各地へと届けました。

主な作家:ピーテル・ブリューゲル(父)／ヒエロニムス・ボス／コルネリス・コルト★



ピーテル・ブリューゲル(父)原画、ピーテル・ファン・デル・ヘイデン版刻「七つの大罪」より《怠惰》1558年 TOPPANホールディングス株式会社 印刷博物館(部分)

fantastic!

5 皇帝ルドルフ2世と その周辺の版画

プラハのルドルフ2世の宮廷には、アルチンボルドにスプランゲルといった宮廷芸術家が集い、北方マニエリスムが開花します。宮廷版画家エギディウス・サーデレルの作品をはじめ、プラハ宮廷と関係のあった北方の版画家の作品をととして、その革新的様式は国際的に知られることとなります。それだけでなく、皇帝のパトロネージは、版画の発展にも大きく寄与しました。

主な作家:エギディウス・サーデレル★／ヘンドリック・ホルツィウス★／ヤン・ミュラー／ドミニクス・スクストス★

ヘンドリック・ホルツィウス《永遠の洞窟(魔術師)》1594年頃 町田市立国際版画美術館



もうひとつの奇想

17世紀前半の版画から、ちょっと奇妙な4作品をご紹介します。

主な作家:アダム・エルスハイマー／クロード・メラン／ヴェンツェラウス・ホラル

超絶技巧、
ひと筆彫り!

クロード・メラン《聖顔》1649年 町田市立国際版画美術館(部分)

fantastic!

6 ジャック・カロ

17世紀の版画家ジャック・カロは、イタリアのメディチ宮廷とフランスのロレーヌ地方で活躍し、後期マニエリスムの洗練された誇張表現を取り入れつつ、彼特有の想像力と、現実社会への痛烈な眼差しをもって作品を生み出しました。ルドルフ2世没後の世界におけるマニエリスム最後の輝きやその余韻を見つめます。

作家:ジャック・カロ



ジャック・カロ《聖アントニウスの誘惑(第2ヴァージョン)》1635年以前 新潟県立近代美術館(部分)

常設展のご案内 12/27(金)まで

第1室
ウィリアム・ブレイク特集
第2室
福島ゆかりの日本画

第3室
フロンティア精神のひとびと
第4室
①浜田庄司とエリック・ギル
②クリストファー・ドレッサーの芸術

表・裏作品:1.コルネリス・コルネリス・ファン・ハールレム原画、ヘンドリック・ホルツィウス版刻《イクション》1588年 福井県立美術館 2.10.12.ピーテル・ブリューゲル(父)原画、ピーテル・ファン・デル・ヘイデン版刻「七つの大罪」より《貪食》1558年 神奈川県立近代美術館(部分) 3.ピーテル・ブリューゲル(父)原画、ピーテル・ファン・デル・ヘイデン版刻「七つの大罪」より《貪欲》1558年 神奈川県立近代美術館(部分) 4.8.ピーテル・ブリューゲル(父)原画、ピーテル・ファン・デル・ヘイデン版刻「七つの大罪」より《怠惰》1558年 TOPPANホールディングス株式会社 印刷博物館(部分) 5.アルブレヒト・デューラー「黙示録」より《黙示録の四騎士》1498年 山梨県立美術館(部分) 6.9.アルブレヒト・デューラー「騎士と死と悪魔」1513年 愛知県美術館(部分) 7.バルトロメウス・スプランゲル原画、エギディウス・サーデレル版刻《睿智の勝利》1600年頃 町田市立国際版画美術館(部分) 11.ジャック・カロ2人のパンタローネ1616年頃 福井県立美術館(部分)



バス/JR郡山駅5番のりば
「郡山市美術館」下車すぐ
乗用車/磐越道「郡山東IC.」より20分
駐車場/130台

郡山市立美術館
Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2
TEL.024-956-2200 FAX.024-956-2350
https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/



★:ルドルフ2世のコレクションに含まれる版画家

関連イベント

講演会

内的素描を追い求めて
奇想の版画の作品世界の特質と魅力

11月24日(日) 午後2時～
会場:多目的スタジオ
講師:栗田 秀法(跡見学園女子大学教授)

入場無料

特別ギャラリートーク

12月14日(土) 午後2時～

会場:企画展示室
講師:藤村 拓也
(町田市立国際版画美術館学芸員)

入場券が
必要です

ギャラリートーク

11月16日(土)、12月21日(土) 午後2時～

会場:企画展示室
講師:当館学芸員

入場券が
必要です

学術シンポジウム

近世ヨーロッパ版画の諸相

12月7日(土) 午後1時～4時30分頃
会場:多目的スタジオ
後援/美術史学会

[要申込]
入場無料

発表(予定)

川上 恵理(当館学芸員)
「神聖ローマ皇帝ルドルフ2世のプラハ宮廷からみる北方版画(仮)」

深谷 訓子(京都市立芸術大学准教授)
「版画史におけるヘンドリック・ホルツィウスの位置と意義(仮)」

足達 薫(東北大学教授)
「まるでどこでもドア?—16世紀イタリア版画は異世界への扉(仮)」

保井 亜弓(金沢美術工芸大学名誉教授)
「皇帝マクシミリアン1世のアナクロニズム」

ディスカッション 司会/坂本 篤史(福島県立美術館学芸員)

〈シンポジウムの申し込み方法〉
次のいずれかの方法でお申し込みください。

はがき[1枚につき1イベント、1名様まで]
①イベント名 ②氏名 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号を
ご記入の上、〒963-0666 郡山市安原町字大谷地130-2
「郡山市立美術館 宛」までお送りください。
●応募締切/11月20日(水) 必着
※応募締切後に案内ハガキを郵送します。

インターネット

QRコードを読み込み、応募フォー
ムからお申込みください。(自動返
信メールをもって申し込み完了)
●応募締切/11月30日(土)
※12月3日(火)までに案内メール
をお送りします。

